

衆議院議員選挙の結果

第一區	田万清	七、三〇五票	
第三區	古野周藏	五、七三七票	
第四區	大矢省三	四、五三三票	
東京	宮崎龍介	二、一二二票	
合計		一九、六二七票	
▲大矢省三氏得票内訳			
西成	一、七一九	東淀川	六〇七
住吉	九二四	東成	五六五
▲古野氏得票内訳			
福島	四四一	西野田	九二〇
梅香	一、八二五	北東	二、五五一
▲衛生組合評議員現職中のもの			
港區	西野芳雄	此花區	井上良二
同	溝淵要二郎	同	真崎金六
同	笠井豊	同	北野捨吉
同	中村辨作	同	近藤千賀市
西淀川	村上春太郎	浪速區	河野雅五郎
同	瀬戸丸		

【提出議案】

(一) 労働立法に關する件

(1) 労働組合法即時制定要

求の件

提案 大阪金屬労働組合

主 文

組合法は労働者の罷業権、團體権を確保する上には是非必要と認め即時制定實施を要求す。

理 由

現在資本主義社會に於いて労働階級が支配階級に對抗する力の原動力は無産者の組織力である。その組織を擴大しより強力たらしめるには労働者が完全に團結することだこの團結を國家的權力に依つて保護し労働者の生活條件を改善する爲に労働組合法の制定は必要である。先進諸國の労働階級は労働組合法獲得の鋭き闘争を通じて十九世紀末に戦ひ取るに到つたなれど、我國支配階級は労働階級全體の要求を踏み躓つて資本家、地主の忠僕となり済してゐる見よ濱口内閣は組閣當時並に去る總選挙に於いて組合法の

制定を主張しながら總選挙終了後は知らぬ半兵衛をきめ込み、特別議會を控へてゐながら提出しない事を聲明して居る。これ明に資本家本位の産業合理化を強行せしむる爲に労働者の團結権を紛碎して資本家の御用を勉めんとするに外ならぬ。

我等は資本家階級の強力なる攻撃を前にして労働運動の基礎的出發點として組合法の制定を即時要求する事を本大會に提出し、左の各條を基礎とする組合法の制定施行を要求す。

- 一、組合の組織は産業別聯合より成る全國的同盟を基礎とすること
- 二、現存の組合はその儘承認すること
- 三、法人の資格は任意届出主義とすること
- 四、組合の範圍を制限せざること
- 五、組合は賠償の責任を一切負はざること
- 六、雇主、又は使用主は労働者が組合員たる故を以つて解雇し又は組合に加入する事を妨げる一切の條件を附せざること
- 七、第六項の條件に違反したる時は三ヶ月以上の懲刑に處すこと
- 八、組合會議の決議の取消し、規約の変更、組合の解散等のその他一切處分は裁判の判決に依ること